

津

一般県道一志出家線(中川原橋)道路改良事業

＜事業目的＞

円滑な自動車
交通を確保

歩行者の
通行空間の確保

橋梁の老朽化
対策



＜整備効果＞

- ・車道の2車線化により、渋滞の緩和など自動車や道路利用者が円滑に移動できる道路環境を創出。
- ・歩道の設置による安全な歩行空間を確保。
- ・中川原橋の耐震化により、地震や風水害など災害時にも利用できる道路ネットワークの構築。

＜事業の概要＞

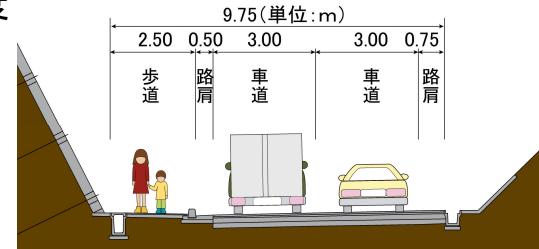
一般県道一志出家線は、国道165号と津市一志町とを結ぶ幹線道路です。津市庄田町では道路幅が狭く、雲出川を渡る中川原橋も架橋後60年が経過し老朽化しているため、中川原橋の架け替えを含めた道路改良事業を平成18年度から進めています。

事業期間 H18年度～R9年度

(令和6年10月供用開始)

全体事業費 38億1千万円

事業延長 L=1.3km



中川原橋(架替)

橋長 : 337.0m

橋梁形式: 6径間連続非合成钣桁橋



令和6年10月 供用開始